

活動報告書

1、2014年度活動報告

東日本大震災原発事故から4年が経過するなかで、福島の特に農家の現状が伝わらない状況のなかで、全国有機農業推進協議会、日本有機農業研究会、有機農業参入促進協議会、アイフォーム・ジャパンとの共催で、「福島原発事故から3年・よみがえれ！福島“生きる耕す”有機農業のつどい」が全国から100名の参加で8月に開催されたことは画期的であった。現地視察においても二本松市の農家、飯舘村、南相馬市とつぶさに見ていただき、原発は収束どころか、さらに深刻な状況も進んでいることが認識された。

さらに3月に開かれた第3回国連防災世界会議においては、「防災世界会議ふくしまCSO連合」に参画して福島市(3月13日)と仙台市(3月17日)のパブリックフォーラムにて原発に依存しない地域づくりの視点から発信することができた。

1月31日の「第10回農を変えたい！東北集会 in みやぎ」は100名の参加で米価暴落のなかでの食料と流通のありかた、持続可能な農業のありかたが議論されたが、今後の東北集会のありかたについて検討課題となっている。

2回目となった「ふくしまオーガニックフェスタ2014」(郡山市総合地方卸売市場)は、若手を中心に実行委員会をつくり、30店を超えるマーケット、コミュニティカフェ、ワークショップに約3,000名の来場者を迎えることができた。特に地元の合唱団、ご当地キャラの企画など子ども連れの来場者に喜んでいただき、地産地消の取り組みをさらに発信して地域でのマルシェの開催につながる取り組みとなった。また前日からは県(有機農業推進室)の企画で有機農業交流バスツアーに30名が参加し、農家との交流を深めた。

12月には多方面に広がってきた販売における基準と手数料の共有をはかるために生産者会議と交流会を開き、50名の参加があった。さらに有機農業ネットワーク本来の技術交流のありかたや販売のありかたなどを話し合う場が必要との声で、2月と3月に生産者交流ワークショップを福島市立子山自然の家で開き、活動のありかたの意見を深めることができた。今後もこの生産者交流を広めていきたい。

ふくしまオルガン堂下北沢の開設から尽力いただいた阿部直実店長がフランスに移住され、12月から佐藤達也店長に引き継ぐことができた。また料理担当も高橋紀子(旧佐藤)さんから荒川倫子さんにバトンを受け、若いスタッフ体制ですすめることとなった。このオルガン堂を支え、連携していくためのサポーター制や企画など新しい取り組みをすすめていきたい。そして助成支援から独立した経営のありかたの検討もすすめていきたい。

このオルガン堂との連携をすすめるために発足したふくしま有機農業女性の会も2年目となり活発な活動を展開することができた。3月には岩手研修も実施して会員交流を深めることができた。事務局スタッフの県内の農家に足を運び、ネットワークをつなぐ積極的な活動を高く評価したい。

ジャパンソサエティからの助成でスタートした「耕せ！ふくしまプロジェクト」は企

業、市民団体の企業ファーム、研修ファームのモデルづくりとして、二本松市で大豆、会津若松市で酒米に取り組み、延べ95名の参加で味噌づくり、純米酒の仕込みと進めることができた。農業の果たす役割、有機農業の力をさらに発信していくことが求められる。

これまでは多くのご支援による寄付金や助成金によって事業が成り立ってきたが、今後は会費や販売を中心とした事業収入を確保する運営のありかたを検討していかなければならない。そのための基盤づくりを役員、会員ともにすすめていきたい。

2、事業報告

<有機農業推進・営農技術支援事業>

○「よみがえれ！福島“生きる耕す”有機農業のつどい」 約100名

8月23日(現地視察、二本松市～飯舘村～南相馬市)

8月24日(セミナー・パルセ飯坂)

○「ふくしまオーガニックフェスタ2014」 約3,000名来場

9月13日・有機交流バスツアー(二本松市)30名

9月14日(郡山市総合地方卸売市場)

出店27店舗 ワークショップ8店 ステージイベント(民謡・ご当地キャラショー・ミニライブ・パネルディスカッション・子どもセリ大会・合唱) パネル展示

○有機農業技術講習会(日本有機農研との共催)

7月26日：参加10名、秋野菜の栽培と害虫対策

9月20日：参加5名、作物栽培

○ネットワーク生産者会議・交流 12月8日 二本松市市民交流センター

(50名・ふくしまオルガン堂阿部店長送別会)

○生産者交流ワークショップ 2月9日・3月18日

(福島市立子山自然の家)

○「農を変えたい！東北集会 in みやぎ」 1月31日～2月1日 東北大学

<放射能対策・食と農の再生事業>

○外部被ばく線量調査の実施(産総研の委託事業)

被ばく線量の推定手法開発に資する屋外活動者(主に農業者)の被ばく線量調査を実施。

1. 第1回調査

協力者：59名

期間：2014年5月9日～7月30日

住宅の遮蔽係数の把握に資する調査のため、10名の住宅の線量計測調査を行った。

2. 第2回調査

協力者：23名(果樹農家・南相馬市農家等)

期間：2015年1月23日～2月20日

住宅の遮蔽係数の把握に資する調査のため、3名の住宅の線量計測調査を行った。

各回の調査終了後、線量計およびGPSデータを協力者より回収し、データを産総研担当者に送付した。後日産総研より返送された調査結果資料を協力者に配布し、その

際に謝金を支払った。

○放射能測定事業

二本松測定所 8点 会津測定所 10点

※食品測定器2台を、10月5日に首都圏の市民団体 東林間測定所、アルビレオ(にしとうきょう市民測定所)に寄贈。

○南相馬市小高支援(「おだか通信」)

9月11日:小高は養蚕が盛んでした。それを再開した団体が「浮き船の里」です。根本さんほか地元小高の人とおじゃまして、浮き船の里の理事長・久米さんとお話ししました。桑を育てて、蚕を飼い、糸繰りと機織りを行う。それ以外にも養蚕にはたくさんの手がかかりますが、だからこそ、みんなが参加できる。お年寄りも参加できると、役割が生まれる。分断された小高のつながりを取り戻すのにとってもよい手段となるかもしれません。

10月4日:鹿島区森さんのところで、藍染めを10人で行いました。小高区浮き船の里の方々を根本さんの畑へ案内し、今後の計画(餅つき、味噌仕込み、来年の作付)について打ち合わせしました。杉内さんに小麦種(きぬあずま)を届けました。

<消費者との連携・交流販売事業>

○「耕せ!ふくしまプロジェクト」

・二本松拠点(大豆栽培) 博報堂 市民団体など

6月7~8日 大豆の種まき 10名

7月26~27日 草取り じゃがいも収穫 5名

11月2~3日 大豆収穫 13名

2月13~14日 味噌づくり 13名

・会津拠点(酒米づくり) ヤフー 市民団体など

6月14~15日 田植え 11名

8月9~10日 草とり そば種まき 6名

10月18~19日 稲刈り はせがけ 10名

○販売交流部事業

・販売総額:約581万円(20%程度の販売利益)

荒川区役所(毎週水曜日) 荒川区役所職員組合 組合OBスタッフ支援

真如苑・仮設住宅販売支援(SAVE IWATE、山里ネット、横丁市場)

ゆうき市場(都内自然食品店5~6店)

鎌倉屋・有機コーナー(郡山市、二本松市)

その他

○ふくしまオルガン堂下北沢 ※運営費において、武田薬品の支援を得ている。

・総売上：約 979 万円 ・総利用者：約 9000 人

2014年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川避難者とともに歩む会 ・三菱電機出張販売 ・浪江町交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・NEC出張販売 ・根本さんを囲む会
2014年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習院大学まじまぜミ ・蕎麦と山菜の会（女性の会） ・かわいいもの展 	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷の朝市 ・あずまっぺ女子会 ・いのちつなごうイベント参加
2014年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・パルク自由学校 ・新地町写真展 	
2014年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋紀子さん送別会 ・日本有機農業研究会会合 ・山崎光販売会 ・NEC出張販売 ・藍染体験（女性の会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・田村市就職セミナー受入 ・萬福寺販売 ・明星大学交流会 ・パルク自由学校
2014年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・孀恋イベント ・世田谷区民まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の産直市開催 ・なすびのエベチャレ報告会
2014年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン受入（明治学院大） ・オーガニックワインの会 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーガニックフェスタ参加
2014年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・会津大学せかいめしイベント ・萬福寺販売 ・会津留学説明会 ・パルク自由学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷の朝市 ・「世界のこどもたちのために」販売会 ・スイーツ会
2014年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・タケダ社内マルシェ ・新潟イベント参加 ・芋煮会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインの会 ・メジャーリーガー来店
2014年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年12月阿部直実前店長退社 ・佐藤達也新店長就任／荒川倫子さん入社 ・下北沢マルシェ参加 ・NEC出張販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・会津の会 ・シールド試飲会（女性の会） ・阿部直実さん送別会
2015年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・大竹恵子さん個展開催 ・会津留学説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・餅つきイベント
2015年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・福島復興ライブ ・CSまちデザイン勉強会 	
2015年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本エゴマの会 ・下北スクエア（世田谷社協） ・下北沢ライブイベント ・二子玉川ライブ復興イベント ・丸の内買って社会貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌仕込みイベント（女性の会） ・開店二周年イベント ・萬福寺販売 ・いのちつながるお話し会（第一回） ・インターン受入（調理師専門学校生）

○ふくしま有機農業女性の会

旬の野菜を使った料理の持ち寄りや体験交流中心に毎月実施。オルガン堂にも料理のお手伝いに行く。

- | | | | | |
|---------|------|----------------------|-----------------------|-----|
| ・4月8日 | 第9回 | 二本松市 | 菅野まゆみ宅 | 9名 |
| | | | 「こがねもち100%のいちご大福作り」 | |
| ・5月13日 | 第10回 | 柳津町 | 金子勝之宅 | 13名 |
| | | | 「山菜狩り」 | |
| ・6月16日 | 第11回 | 石川町 | 大平美代子宅 | 13名 |
| | | | 【端午の節句 ちまき・柏餅作り】 | |
| ・7月14日 | 第12回 | 二本松市 | 大隣寺 | 7名 |
| | | | 「座禅体験及び精進料理を食べる会」 | |
| ・8月4日 | 第13回 | 石川町 | 大平美代子宅 | 5名 |
| | | | 「オーガニックフェスタ2014打ち合わせ」 | |
| ・8月25日 | 第14回 | 南相馬市 | 森キヨ子宅 | 13名 |
| | | | 「藍染会」 | |
| ・9月13日 | | ふくしまオーガニックフェスタ2013参加 | | 10名 |
| | | | 「ちまき作り・車座トーク」 | |
| ・10月27日 | 第15回 | 会津坂下町 | 慶徳敬子宅 | 9名 |
| | | | 「伝統野菜をいただく」 | |
| ・11月28日 | 第16回 | 石川町 | 大平美代子宅 | 6名 |
| | | | 「大豆を収穫 湯葉作り」 | |
| ・2月19日 | 第17回 | 郡山市 | 中村喜代宅 | 6名 |
| | | | 「こんにゃく作り」 | |
| ・3月5日6日 | | ふくしま有機農業女性の会研修旅行 | | 12名 |
| | | | 「岩手県遠野市へ視察」 | |

【岩手県遠野市へ視察 目的】

- ①東日本大震災で被害を受けた岩手県で活動している女性の団体を研修させていただき、農業を通して福島地域に対してどのようなことができるかのヒントをいただきたい。
- ②大きな災害の経験を共有し、交流を通して勇気をもらいたい。
- ③命を大切にする農業の生き方を学びたい。

以上、これらの事業実施にあたっては、ジャパンソサエティ（本部ニューヨーク）、日本国際交流センター、日本NPOセンターの支援金、また、真如苑、ハワイ大学の寄付金を利用させていただいた。